

博士論文

一九世紀の豪農・名望家と地域社会

福澤 徹三

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程
SD041025

“GONO”(RICH FARMERS) AND LOCAL MEN OF INFLUENCE
IN RELIGIONS SOCIETY
DURING THE NINETIETH CENTURY

FUKUZAWA, Tetsuzo

Doctoral Dissertation
Graduate School of Social Sciences
Hitotsubashi University

『一九世紀の豪農・名望家と地域社会』 目次

序章 本論文の課題と構成 1 頁

第一節 問題の所在(研究史整理)

第二節 積み残されている現在の課題

第三節 本論文の構成

第一部 一九世紀の畿内における豪農金融の展開と地域

第一章 畿内における豪農金融の展開と地域 15 頁

はじめに

第一節 享和と天保期の金融活動

第二節 天保から幕末の展開

おわりに

第二章 近代における岡田家の金融活動 54 頁

一 畿内の無担保貸付への私的所有権確立の影響一

はじめに

第一節 近世との比較と概観

第二節 明治三年から一四年までの変化(発展期)

第三節 明治一五年から明治二六年の変化(衰退期・低迷期)

第四節 岡田銀行の経営と貸付状況の分析

おわりに

第三章 河内国丹南郡伊賀村西山家の金融活動 76 頁

はじめに

第一節 伊賀村と西山家の経営概観

第二節 西山家の経営をとりまく環境

第三節 小作地経営の編成過程

第四節 貸付相手と所持高・小作人との関係

第五節 岡村岡田家と西山家との金融関係

おわりに

第二部 信州における近世後期の金融活動

第四章 近世後期の信濃国・越後国における広域金融活動 98 頁

一 更級郡今里村更級家を事例に一

はじめに

第一節 今里村と更級家の状況

第二節 広域金融活動の概観と更級家の意識

第三節 松代藩領への貸付の展開と文化一四年五月の状況

第四節 証文内容の問題点と文政四一三年の江戸評定所

への出訴

第五節 天保・弘化期の回収過程

第六節 地域における質地金融の展開との比較

おわりに

第五章 文化・文政期の松代藩と代官所役人の関係 127頁

はじめに

第一節 松代藩と代官所役人のやりとりの検討

第二節 上徳間村用水普請における「正式」と「内々」

第三節 今里村更級左門 質地作徳滞出入における「内々」

おわりに

第三部 関東における明治期の地域社会

第六章 農業雑誌の受容と実践 142頁

一 南多摩郡平尾村 鈴木静蔵の事例を中心に

はじめに

第一節 『農業雑誌』の発刊・展開とそのスタイル

第二節 農業雑誌による農事改良と達成

第三節 農事改良による平尾地区の変容

おわりに

第七章 吹上隧道開通運動と川口昌蔵 162頁

一 積極主義下の地域状況と名望家の要件一

はじめに

第一節 昌蔵の経歴と彼を取り巻く状況

第二節 五か年継続予算獲得までの過程

第三節 隧道工事と前後道路工事の実施過程

おわりに

終章 本論文の総括と今後の課題 195頁

第一節 各章の内容の整理

第二節 研究史上の意義

第三節 まとめと今後の課題

〔初出一覧〕

第一章 「畿内における豪農金融の展開と地域」(渡辺尚志編『畿内の豪農経営と地域社会』思文閣出版、二〇〇八年二月刊行予定、第五章)。

第二章 「近代における岡田家の金融活動―畿内の無担保貸付への私的所有権確立の影響―」(渡辺尚志編『畿内の豪農経営と地域社会』思文閣出版、二〇〇八年二月刊行予定、第九章)。

第三章 新稿。

第四章 新稿。

第五章 「文化・文政期の松代藩と代官所役人の関係」(渡辺尚志編『藩地域の構造と変容』岩田書院、二〇〇五年、第五章)。

第六章 「農業雑誌の受容と実践―南多摩郡平尾村 鈴木静蔵の事例を中心に―」(『一橋論叢』第一三四巻四号、二〇〇五年)。

第七章 「吹上隧道開通運動と川口昌蔵―積極主義下の地域状況と名望家の要件―」(渡辺尚志編『近代移行期の名望家と地域・国家』名著出版、二〇〇六年、第二部第三章)。